



はやま 山るみ子 議員

■公共施設予約システムについて

現在の公共施設の予約方法には不満の声がある。今年導入予定の「新公共予約システム」の概要を伺う。

来年2月より運用開始予定の新システムは、現行の空き情報の確認と予約に加え、マイナンバーカードを利用した利用者登録、抽選の参加申し込みや抽選結果の通知、使用許可書の発行、キャッシュレス決済による利用料支払いがオンラインで可能。導入後当面は電話予約や窓口での紙ベースによる使用許可申請などもこれまでどおり受け付ける。

■市民説明会について



市政情報の提供として今後行う市民説明会について動画によるYouTube配信と後で視聴できるアーカイブ配信を行う考えはないか伺う。

特に市民の皆様への関心が高い、あるいは理解の浸透を図るべき制度事業などは動画を作成し配信している。市民から意見をいただく説明会等の配信は、参加者個人の特定につながる恐れがあり、十分なリスク対策と慎重な検討が必要。特に重要な施策などについて開催される議員説明会の配信を行うことは検討したい。

■空き家対策について

空家等管理活用支援法人指定の検討状況と空き家の予防策について伺う。

現状、市では空き家対策でマンパワー不足を認識していないが、全国的な傾向を踏まえ、空家等管理活用支援法人の指定について来年度からの次期空家等対策計画に盛り込むため準備を進めている。



こもり たふみや 議員

情報を市HPで周知している。

■消防団について

消防団員の現状と確保策及び負担軽減のため準中型免許等取得支援の考えはないか伺う。

市の消防団員は過去10年で減少しており、20代・30代の割合が減り、40代以上が増加している。



さくらい はじめ 議員

■石鳥谷4小学校統合について

4小学校統合の方針が示されたが、その理由、今後の進め方を伺う。

石鳥谷地域の各小学校児童数も減少の一途をたどっており、それぞれの小学校の保護者よりご意見やご質問をいただきながら将来的な小規模化へのメリット・デメリットを検討していただいた。今後各小学校PTA役員から選出した19名に小中一貫教育についての勉強会や先進地視察を行った上で、小中学校をこれまでどおりの6・3制の学校とするのか義務教育学校を含



む小中一貫校のどれがふさわしいかといった検討をしていただく。一定の方向性が定まったら、各小中学校の保護者全体に対して説明と協議を行い、了承いただいた場合は6コミュニティ単位ごとに地域の方々に対しての説明と協議を進め、ご判断いただきたい。

■スクールバスの運行状況について

石鳥谷4小学校におけるスクールバスの運行状況を伺う。

石鳥谷小学校では大瀬川、八日市の2路線、八重畑小学校では山屋・五大堂の路線、合計3路線を運行している。八幡小学校と新堀小学校においてはバス運行していない。



しいうち やすひろ 鹿討 康弘 議員

■総合花巻病院の経営改善の進捗、安全管理体制と救急対応の実効性に対する市の評価について伺う。

病床稼働率・入院患者数は改善傾向にある。外部人材・コンサル導入で再建を推進。救急は医師・看護師・事務の体制を維持し、転送連携の仕組みも確保。市民の不安には「地域医療連携 患者総合支援センター」の相談員が対応し、意見箱も活用。新経営陣以降、市との情報共有が進み、関係性も良好と認識している。

■教育委員会と教育現場との関係性について



（※）とコミュニティ・スクール（※）の運用状況、教育委員会と現場の認識差への対応を伺う。

架け橋期カリキュラムは園と小学校の連携を基軸に策定。学童クラブとの情報共有も推進し、育ちの連続性を支援したい。制度趣旨に反する対応の是正や認識の温度差解消に向け、会議や研修、実践例の共有を強化する。コミュニティ・スクールは全中学校区に導入済。地域参画を促進し、学校と地域の協働体制をさらに深めたい。



ささ き せいいち 佐々木精市 議員

■ドクターヘリについて

ドクターヘリの要請から出動までの流れおよび消防署との連携について伺う。

要請は、通報の内容に72項目のキーワードが含まれる場合、または救急隊員が傷病者を観察し、より早く医師の治療が必要と判断した場合に行う。消防署との連携は、消防自動車が行き着陸可能な判断、砂埃飛散防止の散水や安全管理などを行い、着陸後は救急車内で医師が診察・処置後に空路又は陸路で医療機関へ搬送している。

■花巻市マスコットキャラクターについて

フラワールールちゃん、が市のマスコットキャラクターに公認された経緯と、今後の展開について伺う。



平成20年2月に花巻市青年会議所が市内高校生および大学生を対象にワークショップを開催し、同青年会議所が学生と共同で募集、審査を行いデザインが決定された。市は平成21年5月に「フラワールールちゃん」を公認キャラクターと決定した。今後、市のPRやイベント等に活用していく他、ホームページなどで周知していく。

■犯罪被害者支援について



すがわら 管原ゆかり 議員

令和6年4月に県の条例が施行されたが、市における条例化に向けた取り組みについて伺う。

県の条例が理念条例に留まることから、支援窓口の設置や見舞金の支給といった支援制度や犯罪被害者等支援条例を独自に制定する必要があると考えているところであり、犯罪被害者等支援の条例化、制度化について早急に検討して参りたいと考えている。

■ヒアリングフレイル（加齢性難聴）対策について



予防策の普及啓発と聴力検査アプリの活用について伺う。

高齢者の方々に加齢性難聴に関心を持っていただくとともに、周囲の方々にも理解が図られるよう正しい知識と予防対策について、広報やホームページ、啓発チラシを活用しながら周知に努める。「みんなの聴脳力チェックアプリ」の活用については、活用が有効であると考えられた場合には導入を検討する。

※架け橋プログラム：5歳～小1の接続期に園と学校が連携し、教育の連続性を図る国の取組。

※コミュニティ・スクール：学校と地域が連携し、住民が学校運営に参画する制度。全中学校区で導入済み。